

【導入事例紹介】

自動運転開発プラットフォーム RoboCar[®] MV2

同志社大学 モビリティ研究センター

自動運転技術の研究・開発へ活用

株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒、以下 ZMP)が販売する自動運転開発プラットフォーム RoboCar[®] MV2 が、同志社大学 モビリティ研究センターにおける研究や実証実験の実験車両として導入され、自動運転技術の研究・開発において活用されております。この度、弊社ウェブサイトにて事例紹介を公開いたしましたので、お知らせいたします。

【RoboCar[®] MV2 活用事例紹介】同志社大学 モビリティ研究センター

https://www.zmp.co.jp/case/mv2_180426



同志社大学 モビリティ研究センターに導入された RoboCar[®] MV2 と実験の様子

同志社大学 モビリティ研究センターでは高齢化社会に突入する先進諸国、モータリゼーション普及に伴い交通障害や環境悪化が進む発展途上国において、近年の情報通信に関する技術革新を背景とした移動手段(モビリティ)のパラダイムシフトが求められているなか、情報通信技術を基盤としてセンシング・自動制御・ロボット技術の融合が必要となります。一方で、クルマなどの従来型交通手段と将来型モビリティの補完関係の構築を考慮した社会への普及および制度の検討も不可欠となります。研究センターは、情報システム、制御システム、社会システムが密接に協調・統合し、さらに生体情報を考慮することで、将来に向けたモビリティ変革を実現するための新技術の研究開発および社会への普及検討を行っております。

2014年には文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「進化適応型自動車運転システム ドライバ・イン・ザ・ループ 研究拠点形成」に採択され、「高齢者ドライバを支援するソフトウェア・エージェント・アーキテクチャ」、「高齢者ドライバを支えるアクティブセーフティセンシング・コントロール技術」、「高齢者の運転行動モデル構築のためのヒト生体情報多次元解析技術」、「信頼性・安全性を考慮したセンサ情報通信プラットフォーム」に関する研究や実証実験、産官学連携を実施しています。

本研究における実験用車両は、ZMPの自動運転開発プラットフォームである RoboCar[®] MV2 が活用されています。RoboCar[®] MV2 は、市販一人乗り電気自動車をベースとして、外部コンピューターから車両制御ができるように改造された自動運転開発プラットフォームです。ユーザーは付属の PC にインストールされたサンプルプログラムで容易に車両制御を行うことができます。また RoboCar[®]との通信用に提供される API (Application Programming Interface) の情報を使って、ユーザが独自のコンピューターから車両を制御でき、



自動運転や ADAS(高度運転支援システム)にかかわる多くの開発関係者にご利用をいただいております。

ZMP では同志社大学 モビリティ研究センターに導入した RoboCar® MV2 に加え、遠隔操作の実験を行いたいお客様向けに遠隔操作の専用 PC、Wi-Fi ルーター、ステアリングコントローラを追加した「RoboCar® MV2 遠隔操作パッケージ」や自動運転の実験を安価に素早く開始したいお客様向けに、自動運転のオープンソースソフトウェアである Autoware を搭載した「RoboCar® MiniVan Autoware パッケージ」も併せて提供しております。さらに ZMP 独自の自動運転コンピューティングプラットフォーム「IZAC®」なども提供しております。

今後も、当社は自動運転開発プラットフォームの提供や実証実験の支援を通じて、自動運転技術の向上へ貢献して参ります。



【ZMP RoboCar® MV2 について】

<https://www.zmp.co.jp/products/robocar-mv>

RoboCar® MV2 の特長

- ・ コンパクトな車体で屋内外での実験が可能
- ・ ステアリング、アクセル、ブレーキを制御可能
- ・ ZMP 独自コントローラによりユーザプログラムを実行可能
- ・ 自動制御モードとマニュアルモードの切り替え可能

【価格】

RoboCar® MV2	800 万円(税別)
RoboCar® MV2 遠隔操作パッケージ	900 万円(税別)
RoboCar® MV2 Autoware パッケージ	1,330 万円(税別)～

【Autoware の基本機能】

- ・ 3次元地図生成
- ・ 3次元自己位置推定
- ・ 経路生成
- ・ 経路追従
- ・ 自動停止
- ・ 車両認識
- ・ 歩行者認識 etc..

【本件に関するお問合せ】

株式会社 ZMP プラットフォーム事業部 TEL: 03-5802-6901/FAX: 03-5802-6908 Mail: info@zmp.co.jp

【株式会社 ZMP】

<http://www.zmp.co.jp/>

本社: 東京都文京区

代表取締役社長: 谷口 恒



RoboCar® 1/10



RoboCar® MV2



RoboCar® MiniVan



CarriRo®



CarriRo® Delivery

「Robot of Everything 人が運転するあらゆる機械を自動化し、安全で、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、①ADAS(先進運転支援)、自動運転開発用プラットフォーム RoboCar®シリーズ及びセンサ・システム、②移動体メーカー(自動車、商用車、建設機械、農業機械、物流搬送機器、屋外作業機械等)向け自動運転等の開発支援、実験代行 RoboTest®, ③物流支援ロボット CarriRo®の開発・販売を行っています。また、2020年の自動タクシー®の実現に向け、公道での技術及びサービスの実証実験を重ねています。2017年からは日本初の歩道走行を目指す宅配ロボット CarriRo® Deliveryの実証実験を開始いたしました。ZMP はこれからも世の中に感動を与える製品やサービスを提供してまいります。